

第9回推進会議結果のまとめ

6月16日（月）に行われた第9回南三陸町復興計画推進会議の討議結果をご報告します。今回は、第8回会議に引き続き、町の住まい・暮らしの状況と課題についてグループ討議が行われました。

1. 平成25年度提言・要望の進捗状況の報告（仮設運動広場）

1. 町からの報告

- ・ 5月28日に仮設運動広場の利用が開始され、広場の名称は「志津川地区仮設運動広場」ということになった。
- ・ 5月26日に推進会議の委員やグラウンドゴルフ協会のメンバーに集まって頂き、広場の利用方法について議論した結果、午前中はグラウンドゴルフに、午後は皆さんで利用して頂こうということになった。
- ・ 設置要望のあった道具入れ、ベンチは既に設置されており、トイレも設置する予定である。

2. 委員からの報告

- ・ 道具入れは、知り合いの協力を得て設置してもらい、ベンチも、グラウンドゴルフ協会のメンバーが作成したものである。
- ・ 初心者向けの道具の貸出があれば、利用者の範囲が広がっていいと思う。

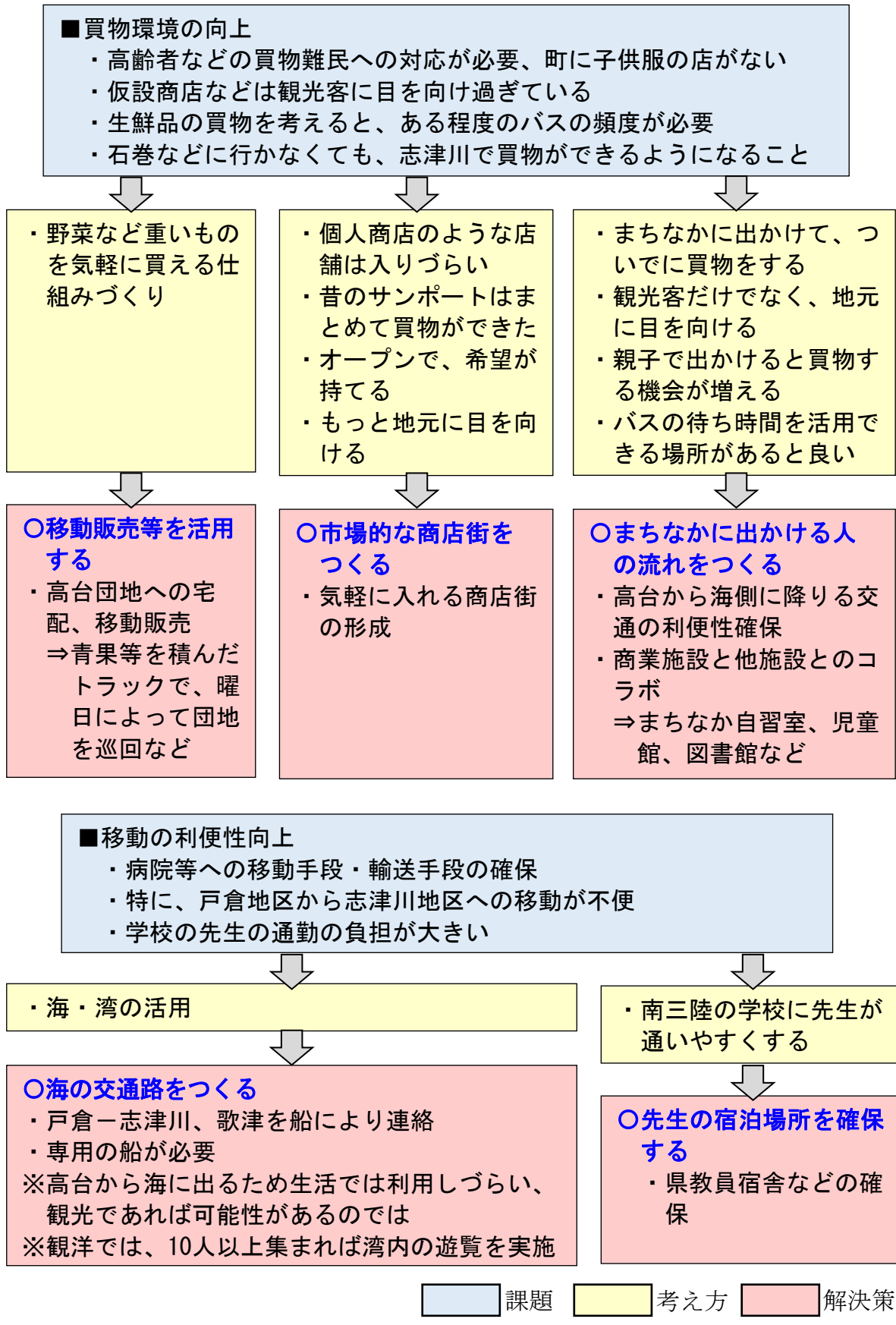
《志津川地区仮設運動広場の状況》



2. グループの討議結果

グループ討議では、「高台団地・住宅に住むときの暮らしの課題とアイデア」について討議が行われました。討議で出された意見をまとめると、以下のようになります。

① 高台団地・住宅に住むときの「暮らし」を便利にするための「アイデア」



②高台団地・住宅で快適な暮らしを送るための「アイデア」

■交流の場、新しいコミュニティの形成

- ・住まいがばらばら
- ・情報が入ってこない
- ・公共施設への提案をあまりしていない
- ・憩いの場がない



- ・各地区の課題を共有し、分かち合う
- ・新しいコミュニティ形成のチャンスとしてとらえる



- ・公共施設の設計に声を届ける機会づくり
- ・役場の人と町民が話ができる機会や場をつくる



- ・縁側文化、お茶っ子文化からヒントを探る
- ・小さな団地を暮らしやすくする



○高台つながり協議会をつくる

- ・やわらかい協議会のような組織
- ・定期的な交流会の開催など



○町民が話をできるスポット、パブリックハウスをつくる

- ・町に意見を聞いてもらえる機会づくり
⇒行きたくなる役場、役場にカフェ
皆が集まる図書館



○情報交換、交流の場をつくる

- ・役場内、まちなかにまちの茶の間をつくる
⇒しおだまり、東屋、道の駅のような機能
- ・団地の中などに、共同菜園、ふれ合い農園などをつくる

課題

考え方

解決策

3. 学識者委員・有識者委員の講評ととりまとめ

1) 三浦委員

- ・いろいろな課題や意見を、町などに提案をしていただくことが一番いいと思う。
- ・移動手段がある方と、ない方、お年寄りもいらっしゃるので、交通の問題をどういうふうにしていくかということが気になる。
- ・病院や買物の足、お年寄りの一人暮らしの方々をどうしていくのかということが、大きな問題になってくると思う。

2) 稲葉委員

- ・買物の話で市場方式という話があり、八戸の朝市を思い出した。岸壁朝市といって、非常に広いところに300店舗から500店舗くらいが参加する日曜日の朝市があり、観光客だけでなく地元の方が買物に来る。非常に出店料が安く、出店がしやすいのも特徴である。
- ・出店したい人をたくさん集めると、すごくバリエーションも増えるので、買いたくなるし、あそこに出店するととても楽しいらしい、という話が話題になると、違った意味で活気づくのではないかと思う。
- ・仕事がないとか、仕事をつくらうという話があったときに、自分でその場に行って売るとことや、売ることではできなくても紹介するとか、そういう場にしていくといいのではないかと思う。
- ・八戸の朝市は野菜ばかりが並んでいる通路があったり、魚を売っている通路があったり、帆船の模型を売っている人がいたり、馬肉鍋があったり、パンがあったり、幼虫キャンディがあったり、いろいろなものがある、行くだけでも楽しい。そういう場がひとつできれば、観光客も、地元の方もいいなど想像した。

3) 宮原委員長

- ・高台に皆さんがお住まいになった後、海と町の賑わいをつくっていくときに、どういう人の流れが可能なのかなというのがあって、これは道路であったり、バスだったり、交通の便に関わってくるのではないかなと思う。
- ・住民の方の目線での移動のしやすさを考えて欲しいし、湾を利用するような私たちの可能性を突き詰めてもらえたらいいと思う。
- ・学校の先生の住宅の問題、子供たちの自習室やみんなが待ち合わせをして、そこから家に帰っていけるような安全な場所など、生活している中でこういうのがあったらというのがまだまだ出てくるのではないかなと思うので、引き続き次回もリアルに生活を想定しながらいろいろなアイデアを出していただければと思う。